



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/2/1 ~2018/2/28)



1. 勉学の状況

今月から開講された授業である Global Education の授業と、最近教育について考えていることを書こうと思います。

◎Global Education

「世界中の様々な人々と関わる上で、どのような行動をするか」を子どもたちが学校で考えられるような授業をつくるのが目的のコースです。多文化共生、意見の衝突と平和、ジェンダーなど、興味のある内容によって班分けをし、その班ごとに指導案をつくります。

この授業が始まる前までは、「異なる文化背景を持つ人たちと生きていくために互いの文化の尊重が大切」というような内容を教えることが Global Education だと考えていました。ですが授業を受ける中で、文化だけでなく（文化につながる部分は大きいですが）、ジェンダーや考え方の違いにより起こる衝突など身近で具体的な場面についても考える必要があると考えるようになりました。

先日の授業の活動のひとつに、班ごとに違う論文のある章を読み、要旨をほかの班に発表するというものがありました。私が読んだ章のテーマは社会的正義でした。この論文によると、社会的正義は人間の権利と（国・地域の）成長によって成り立っており、権利なしでは成長はできないとされています。何か権利や自由を制限をされて状況が悪くなった時に、それを周りに訴えることが大事だとされています。これを読んで、自分が社会の一員であることを理解し、積極的に社会に関わっていくことが生活する環境・状況を良くするためには必要だと学びました。

私はこれまでどこか受け身で、何かあっても「まあいいや。どうにかなるだろうし。」と考えがちでした。ある程度しっかりと自由と権利が守られている環境に恵まれたことがこの考え方に関係しているかもしれません。ただ世界に目を向けると、必ずしも権利が守られているとは限りません。たとえ大部分の物事が良くとも、何かしらの問題は存在していると思います。比較的平和で権利を主張する必要がほぼない日本に住んでいるからこそ、積極的に社会参加をし、状況を良くするためにどうすべきかを学ぶ必要性があるのではないかと感じました。

最近、良い教育って何だろう、と考えることがあります。これまでフィンランドの学校を見学する中で良いと感じたのは、個性を認めて想像力を伸ばそうとしている点です。日本の教育はどちらかというとあるルールに従って動くということが多いため、個性の伸長について、これからもっとフィンランドの教育を学ぶ上で注目したいと感じました。一方、教えるときの効率性は日本の学校の方が優れていると感じました。日本の教育現場は余分な時間がなく、大事な部分がま

とめられているように感じます。日本の教育とフィンランドの教育の長所をすべて含むことができればもっと良い教育になるのかもしれませんが、本当にそうなのかな…と疑問にも感じます。例えば、創造性を伸ばそうとしたら考える時間が長くなるため、どうしても効率は悪くなります。このように、教育について考えるうえで矛盾は存在すると思います。そのため、どのような能力、知識を身に付けさせたいかをよく考え、ある程度優先順位をつけることも必要なのではと最近では思います。

また、良い教育は国や地域によって違うとも思います。その土地の人々の考え方や宗教、政治など様々なことが重なって教育がつくられているため、ある国の教育だけを見てその制度や授業方式を取り入れるのは違うのではないかと感じます。ある国にとってはよくない事でも別の国では好まれることもあるかもしれません。ある国の教育の一部だけを見て「これは優れている。真似すべきだ」と早まるのではなく、良い点を見つけて自分の国の状況をよく考え、その上でどのように良いと思ったことを取り入れるか考えるのが大切だと感じます。自分の国の教育の良さは見えなくなり悪いところばかり目につきがちですが、まずは冷静に自分の国の状況を把握し、そのうえで他国の状況を考えることが大切なのではないかと思っています。

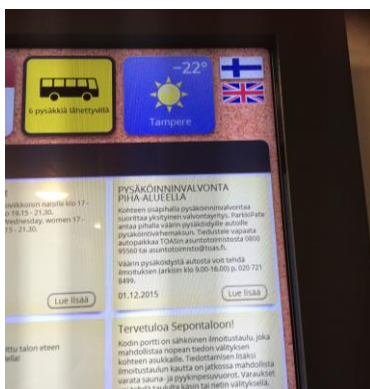
2. 生活の状況

◎パスポートの更新

友達とロシア旅行の計画を立てていた時に、ビザの話になりました。ロシアの場合、入国時に6か月以上有効期間が残っていることが条件なのですが、よくよくパスポートを確認してみると、5か月しかないという恐ろしい事実気づいてしまいました…。あわててパスポートの更新について調べ、ヘルシンキにある日本国大使館に出向いてどうにか新しいパスポートを受け取ることができ、ほっとしました。みなさん、パスポートの有効期限には本当に気を付けてください！そういえば、受け取ったパスポートを見たら、発行機関が外務省ではなく在フィンランド日本国大使館となっていて、少し特別感があって嬉しかったです😊

◎友達との旅行

今月末から地元の友達がフィンランドに遊びに来てくれて、ロヴァニエミやヘルシンキへ一緒に旅行しました。最近は勉強で余裕がなくなりそうなこともあったので、とっても良い息抜きになりました。念願のオーロラがとってもきれいに見えたり、サンドッグという雨のない虹のようなとても珍しい現象も見ることができたりして、本当に良い体験を沢山することが出来ました。

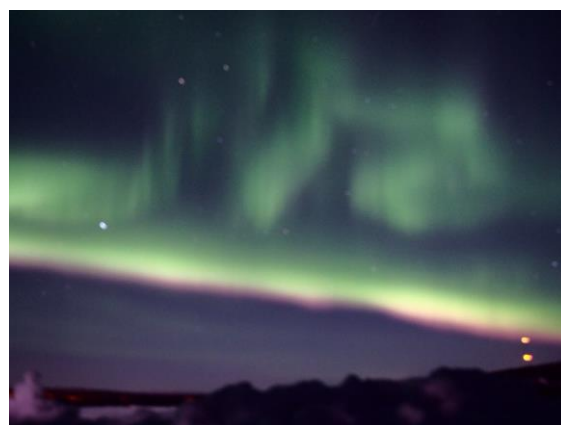
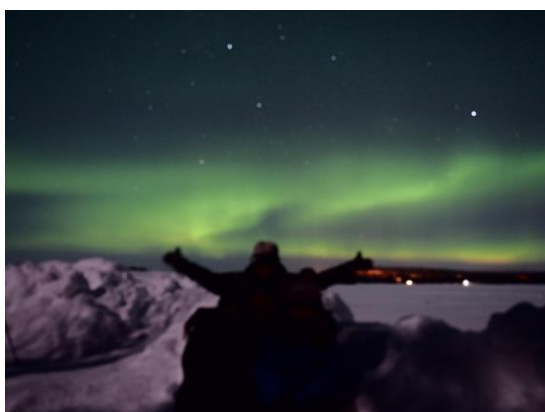


タンペレでもこれぐらい寒くなることがたまにあります。



春服がすでに売り出されています。いつになれば春服が着られるのでしょうか...(笑)

それと、このマネキンの目の位置に違和感を覚えるのは私だけ...??



こんなに大きなオーロラを見るのは初めてで、本当に嬉しかったし感動しました。オーロラはもちろん、星がとってもきれいで、雪の上に寝転がりながら見たのはとってもいい思い出です。



ハスキーのそりに乗って、大自然を満喫しました！天気が良く、とても気持ちよかったです。

<おまけ：物が凍る目安>

私の経験をもとに、何度になると何が凍るかを書いてみようと思います。

(経験を基にしているので正しいかは分かりません笑)

0°C : 水たまりが凍る

-5°C : 湖で飛び跳ねてもスキーやスケートをしても大丈夫な気温

-7°C : 大きな川の一部が凍る。雪の結晶をきれいにみることができる。

-10°C : ダイヤモンドダストを見ることができる。木の枝が凍って真っ白になる。
(これくらいの気温の景色が本当にきれいです。)

-15°C : 髪の毛、まつ毛などあらゆる毛が凍る。鼻の中も凍ります。